

設備機器購入希望調査 説明資料

設備機器購入希望調査とは

次年度、西宮ならびに神戸共同利用研究施設、RI実験室に設置を希望する設備機器について、希望調査を行うものである。

〈 2023年度設備機器装置 〉

セルカウンター他3点(西宮) / マルチモードプレートリーダー他3点(神戸・RI)



セルカウンター(西宮)



マルチモード
プレートリーダー(神戸)

〈 2023年度文科省申請装置 〉

共焦点レーザー顕微鏡LSM900(西宮) / 核磁気共鳴装置600MHz(神戸)

注意事項

- ① 希望する設備機器は共通性や汎用性があり、複数の利用者が見込める設備機器
- ② 設備機器の購入を希望する場合は、複数の利用者からの希望が必要
(神戸共同機器室・RI実験室に限る)
- ③ コンピュータのソフトウェア単体では、設備機器とは認められない
- ④ 提出できる設備機器は、納入価格100万円以上の機器・システム
- ⑤ 定価100万円未満の設備機器は、小額設備機器として希望可能
- ⑥ 定価1,000万円以上の設備機器は、文科省補助金申請機器(高額設備機器)の対象
- ⑦ 調査書を提出した利用者は、必ず利用者会に出席し希望設備機器について説明する
(代理者でも可)

今年度より、提出用フォームでの提出となります！！

提出書式

- 設備機器
- 小額設備機器
- 高額設備機器

設備機器

納入価格が100万円以上1,000万円程度の装置が対象

購入希望が認められた場合、次年度に設備機器が導入されます

①申請者	希望者の氏名、所属、職名、連絡先を記入
②申請する内容	小額設備機器、設備機器、高額設備機器のどれかを選択
③設備機器名	具体的名称を記入
④メーカー名・型式・仕様	設備が装置一式の場合は、主要な付属品等についても記入
⑤設置エリアまたは場所	各エリア、共同機器室1～6、RI実験室を選択
⑥価格	納入価格 を記入 ※納入価格500万円以上の高額機器・システムについては、財務企画部の高額機器調査を受ける必要があるため、希望する装置を含めて同等機種3機種より機種選定する必要あり
⑦当該設備機器を整備する目的	研究課題と当該設備機器との関連性を具体的に記入 設備機器の更新の場合は更新の必要性を、また本体のバージョンアップや付属装置の追加などは、導入効果を記入
⑧その他	見積書、カタログ等の参考資料 を提出

小額設備機器

定価が100万円以下の装置が対象

購入希望が認められた場合、次年度に設備機器が導入されます

- ① 希望する小額設備機器は共通性があり、複数の利用者が見込める設備機器
- ② 設備機器、既存装置のオプション等が対象機器
- ③ コンピュータのソフトウェア単体でも希望可能
- ④ カタログ等の定価が記載されている資料を提出

高額設備機器

定価が1,000万円以上の装置が対象

希望調査とは別に設備機器更新計画リストがあり、リストとあわせた順位で購入を希望していくため、次年度に購入ができるとは限りません。

① 基本的には、文科省補助金申請装置の対象

② カタログ等の定価が記載されている資料を提出

参考

	補助率	1設備のみ
A: 研究設備 1000万円※以上(上限なし)	2/3以内	○ (仮に文科省に申請する設備機器が4000万円以上の設備機器1点のみであれば、研究設備に申請すると補助率が2/3となる。)
B: 研究整備 4000万円以上(工事含む)	1/2以内	

※ 研究設備1000万円以上は学内価額であり、文科省価額は500万円以上である

調査書提出後の流れ

設備機器購入希望調査書

小額設備機器購入希望調査書

高額設備機器購入希望調査書※

西宮ならびに神戸共同研、RI実験室の利用者会にて希望設備機器について説明

各共同研運営小委員会で
希望順位を決定

利用者会での意見、緊急性、
必要性等を踏まえて
エリア代表者又は利用者会代
表者と共同研スタッフで
購入設備を選定

各共同研運営小委員会で
設備機器更新計画における
希望順位(年度)を決定

共同研運営委員会で
承認

共同研運営委員会で両キャンパスから
の希望設備と併せて設備機器更新計画
における希望順位(年度)を決定
○文科省補助金区分
A : 研究設備 1,000万円以上⇒1台
B : 研究装置 4,000万円以上⇒1台

次年度予算の設備機器に
予算申請

次年度予算の設備機器に
予算申請

次年度予算の設備機器に
予算申請
(文科省補助金もしくは学内予算)

※事前に学長への説明要